



2024年 評価

① WWF ジャパン チェックリスト評価

確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。

チェックリスト評価	樹 種	国 名	使用比率 (%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合 板	ダグラスファー	カナダ	15.83%	82.6	A
	ヒノキ	日本	8.63%	83.4	A
	カラマツ	日本	3.05%	80.8	A
	カポール、クルイン	インドネシア	2.32%	100.0	S
	スギ	日本	1.42%	81.7	A
	MLH	マレーシア(サバ州)	0.05%	72.8	B+
	オクメ	ガボン共和国	0.04%	79.3	B+
	メランティ	マレーシア(サバ州)	0.03%	72.8	B+
計			31.37%	83.9	A
芯材	スプルース	フィンランド	29.01%	87.8	A
		スウェーデン	7.98%	68.7	B
		スロベニア	0.29%	86.0	A
		オーストリア	0.19%	86.0	A
	トドマツ	日本	4.10%	84.0	A
計			41.57%	83.8	A
LVL	ボブラ	中国	6.04%	76.3	B+
	スギ	日本	3.39%	78.6	B+
	カラマツ	日本	2.54%	82.0	A
	ダグラスファー	カナダ	0.30%	62.0	B
計			12.27%	77.7	B+
集成材・その他部材	スプルース	フィンランド	9.21%	67.3	B
		スウェーデン	2.51%	84.0	A
	トドマツ	日本	3.06%	84.0	A
計			14.79%	73.6	B+
総合計			100%	81.6	A

② WWF ジャパンのコメント

2023年から2024年にかけて、ミサワホームの木材調達スコアは72.5%から81.6%へと、約9ポイント改善しました。スコア向上の要因は複数考えられますが、主な理由として、国産材に対するデューデリジェンスが着実に進展したことが挙げられます。

国産材については、森林経営計画書の積極的な入手や、必要に応じた現地踏査の実施など、これまで困難とされてきたデューデリジェンスにも取り組み、スコア向上につなげました。これは、責任ある木材調達に向けた当社の継続的な努力の成果です。

2025年4月には、改正クリーンウッド法が施行され、日本国内においても、企業による合法性の確認とリスク評価が義務化されました。また、欧州でも森林破壊防止規則（EUDR）が2025年末から施行され、原産地の合法性だけでなく、森林破壊の有無や伐採地の位置情報の確認が義務付けられます。

こうした国内外の動きを受けて、今後はより一層、厳格な木材デューデリジェンスの重要性が高まっていくと考えられます。ミサワホームの木材調達における取り組みは、他の多くの日本企業にとっても参考になると確信しています。